

第4回 第6期中原区区民会議 運営部会 会議録

日 時：平成 29 年 4 月 17 日（月）午後 2:30～4:30

場 所：中原区役所 5 階 505 会議室

出席者：成田委員（部会長）、橋本委員（副部会長）、井上委員、小野山委員、梶川委員、
田邊委員、萩原委員

【委員 7 名】

永山副区長、小野企画課長、相澤課長補佐、中野職員

【事務局（区役所企画課）4 名】

岩下【コンサルタント（㈱カイト）1 名】

1 開会

開会宣言

人事異動紹介

高橋副区長（定年退職）→永山副区長

- ・ 平成 27 年度から中原区 区民サービス部長 1 階の窓口にて 2 年間いた。
- ・ 区民会議の本会議にも出席していた。
- ・ 平成 21 年、当時の総合企画局区行革推進担当課長を務めており、市全体の区民会議の取りまとめ役を務めていた。

資料確認

会議の公開について

2 会議録確認委員の選任（進行：成田部会長）

「部会長・副部会長を除いた名簿順で会議ごとに 1 名の委員を指名」の原則に沿って小野山委員が務めることとなった。

3 議題

（1）第6期中原区区民会議の後期の進め方について

○資料 1 に基づき、事務局より、平成 29 年度の進め方について、前回の全体会、運営部会での審議経過及びそれを踏まえた進め方の案について説明があった。

○コンサルタントより、資料 2 に基づいて前年度に「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」のテーマに基づいてまとめた取り組み提案の概要、資料 3・4 に基づき前回テーマ検討時の話題、検討された地域課題テーマ等ふり返りがあった。

【意見交換】

井上委員 テーマは継続の形が良いと思っている。新たなテーマとして盛り上った話題がなかったということもある。「災害」と「ユニバーサル」は区民の関心も高いところだ。今年度はより実践的な部分をしっかりやっていければ良いと思います。

小野山委員 私もテーマ継続が良いと思います。ここで切って次のテーマに行くのでは何かぼんやりしてしまいそうな印象です。また前回の本会議で話題になったように、「子ども世代」や「高齢者」など、どなたかに焦点をしばっていくのは本当に難しい

と感じています。むしろ共通項を見出して、出来ることをやっていく。「ユニバーサル」にはなかなかハッキリとしたイメージが湧かない面もあるが、「世代交流」が鍵かなと感じています。資料4の中でのキーワードで言えば「地域コミュニティ」などが良いイメージです。

梶川委員 同じような意見です。テーマを継続して、もう少し掘り下げてはどうかと思います。大変範囲が広いテーマですので、どうしたらよいかは迷っている面もありますが、高齢者や子どもにも、広く呼び掛けて何かできると良いと思います。私もお手伝いはできるのですが、自ら企画というのはなかなか難しいので、みなさんのご意見を参考していきたいと思います。

萩原委員 この後の予定を見ると、大きな実践のイベントがいくつか予定されています。そこをテーマの続きとしてしっかりやっていく部分がないと、とりとめのない議論になってしまうと思います。それぞれのイベント、例えば今挙げられているフロンターレさんのサッカードリーム教室や区の総合防災訓練の時に、区民会議が関わっていき、高齢者の方や障がいをお持ちの方などに配慮したまちづくりを、一步でも具体的にどう進めていけるかを考えると、プロや情報を持っている方からの情報も欲しいところです。一般論で素人が話していてもなかなか進みません。行政の中にもプロとしてのノウハウを持っている方もいるだろうし、民間にもいるだろうし、ネットでも検索すれば出てくるかもしれない。例えば中原区の総合防災マップづくりの提案の中で、町会など地域に詳しい方にも入っていただく同時に、プロの力も借りられればよいかなと思っています。

田邊委員 「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」ということで、前期やってきましたが「災害に強い」というところまではまだなかなか至っていない印象です。初期の初期、「まず知ってもらおうよ」という形の提案になった。

全体会で「ただ提案だけで終わってしまうのではないか」と意見が出たことも気になります。その意味でも、実践についてしっかりと、みんなで関わってやっていく。その上では、みんなにわかりやすい表現で、やさしい副題を新しく何かつけても良いかもしれません。わかりやすい表現の下で実践をしていけば、区民の皆さんにもわかっていただだけ、提案してよかったと委員全員に思っていただけではないか。

橋本副部会長 世代交流、区内に住む全ての方々、以前から住んでいるの方々、新しいの方々、外国籍の方々、みんなが理解できるような形のまちづくりが必要になってくると思います。まちを見ると、サイン、標識の部分なども区民会議がどこまでできるかどうかは別にして、交通標識も世界的な共通的な標識になるようですし、避難路などの案内はまだ少ないように感じます。外国人が見ても、子どもが見てもわかるような形で、防災地図の作成と合わせて、少し区民会議としてやっていけたらと感じています。

成田部会長 年間を通してのスケジュールも意識したいです。例えば、第5回の課題調査部会まで少し期間が開いています。10月には具体的なイベント（サッカードリーム教室）があることを踏まえて、進めていく必要があります。また、今回の課題調査部会のメンバーでなかった委員でも、推薦母体の団体で「防災」のテーマの下で応用いただいたり、ご協力いただいたりできることがありそうです。

コンサルタント テーマは継続。「看板」は変えなくても良い。その中で、取り組み提案

の実践をしっかりやっていきたい、これは共通意見でしょうか。また、実践の場で世代交流、様々な世代や背景を持つ区民の方々に参加をいただけるような進め方ができれば、自然と「ユニバーサル」が進むのではないかというイメージをみなさん持たれているように思います。あとは「専門家の知恵もしっかり入れていきたい」「サインの検討も進めたい」などの意見が出ました。「わかりやすいサブタイトルをつけよう」という意見もでしたね。

小野山委員 前回はサブタイトルをつけようという話題はあったように記憶しています。

萩原委員 ユニバーサルという表現から離れようとしたのですが、結局ユニバーサルに戻ってきたような印象です。

コンサルタント 「ユニバーサル」といっても、まだみなさんイメージが統一されていなかったり、わかりにくい部分があるのでしょうか？

成田部会長 確かにそうかもしれません。

萩原委員 例えば「みんなで助け合う、強いまち」でしょうか。ねらうところはそんなイメージです。

井上委員 （課題調査部会で）「防災」というテーマに基づいて話してきた中では、「人に頼らず、自分で自分の身を守るようにしよう、備えておこう」という「自助」が出発点になり、誰もが参加できる場、行動できる事などが取り組みのポイントになってきたかと思います。ただそれだけでは「ユニバーサル」につながらないイメージです。そこで例えば外国人の方々も参加できるような場にしたり、さらにはオリンピックパラリンピックなども見据えた「サインづくり」などをしていけば「ユニバーサル」になるのか、それが良いのかどうかは私もわかりません。前期のテーマのタイトルに「ユニバーサル」とつけたのはオリンピックパラリンピックも意識して事だったと記憶しています。

小野山委員 内容が変わってきているということでしょうか。

萩原委員 そんなことはないと思います。

井上委員 そんなことはないです。ただ、これから実践していこうという時に、何を盛り込んでいくか、意識していくかという問題だと思います。みんなが「良いね」となるようなものを探さなければなりません。これまでの課題調査部会でも、中森委員に外国籍の方の視点を伺ったり、出ているものはあると思いますが、まだ全体の中では小さいイメージです。これをみんなが「大きく扱えるよ」と言えるものであれば、そうしていく。そうなのであれば、どこかに偏っても良いように思います。

萩原委員 ユニバーサルという時には、本来は外国籍の方だけではなくたはずで、高齢化の課題なども話題になっていたかと思います。防災では自助が最初の一步で基本中の基本ですが、ユニバーサルな視点で見ると、例えば障がいをお持ちの方は自助が難しい面もあり、そうした方でも避難しやすい環境をつくるとか、近所の周りの方がその方の存在を知っていていざという時には支援できる、というような視点が大切になる。このあたりにどちらかといえば、焦点を当てたいところです。

田邊委員 オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みも少しずつ進んでいるようです。日吉の方で、いろいろな会議が始まったりしています。その中で障がい者の方々が武蔵小杉をただ通過するのではなく、降りてみたいと思っただけのまちにした

い。そうすると、障がい者の方も歩きやすいまちなども、ここでやっていかないと、あっという間に 2020 年がきてしまう。2020 年が目的なのではないのですが、一つの目標としてあるので、そこに向けて何かできるのは良いのかなと思います。サインにしてももう少し詳しいものを乗せる。少しずつ整備しているのが見えると良いのではないか。

小野山委員 ハード面が目に見える形で進んでくると気運も盛り上がっていきそうです。

成田部会長 前期は自助から出発しましたが、後期では来訪者の方々、様々な区民の方々まで幅を広げて考えていくということかと思います。

萩原委員 何か良い副題がないかと考えています。

事務局 副題はなければいけないのでしょうか。

田邊委員 必ずしも必要はありません。ただ、どうしてもテーマが固い。もう少し何かわかりやすい副題があったらと、とっつきやすいのかなと思いました。

コンサルタント みなさんのこれまでの発言から、副題のキーワードになりそうなものを考えると「助け合い」「みんなで」などでしょうか。また課題調査部会では「自助」から「共助」そして「互近助」という話題もありました。この辺りも副題にいれられるかもしれません。また、副題は無理に設定せずに、今日でたみなさんの思いを別途伝えることも可能かと思います。

萩原委員 （副題を考えていると）どんどんいろいろな言葉を入れたくなってきてしまいます。かえってやるが増えてしまいそうなイメージもあります。

井上委員 田邊委員の「降りたくなるまち」というイメージは賛成です。オリンピック・パラリンピックについては、川崎市にそこまで直接的な関係があるか疑問もあります。キャンプ地の一つの会場には確実になるのですが、例えば選手がどのくらいこの近くに滞在するのかまだわからない。観光的なチャンスと捉えることはできるかもしれませんが…規模もわかりません。

「降りたくなるまち」は「暮らしやすいまち」であり、暮らしやすくなることによって、例えば、オリンピックを見に来た方たちや関係者が、武蔵小杉周辺に滞在したり、観光に訪れたり、情報が収集できる場所がある。海外の方々が来ても気持ちよく過ごせるようなユニバーサルなまちをつくっていかうという事はすごく良い事です。そこと「より安全に」という防災の視点と絡めて、災害発生時に来訪者も動きやすいような環境づくりを、ソフトの面から考えていくのは良いのではないか。今、中原区に住んでいる方々が、それを意識して進めていけるのであれば良いのではないかと思います。

コンサルタント ただ、「降りたいまち」と副題に入れても、その言葉だけでは、今日みなさんが話してきたようなイメージはなかなか伝わりません。

田邊委員 あまりうまく表現できないようであれば、副題は無理につけなくても良いと思います。意見を言い出した身ですが…副題に振り回されてしまうようでも困ってしまいます。

コンサルタント 来訪者の方なども考えながら進めましょうということを、副題としては表しませんが、テーマ選定の経過として、後半の進め方の留意点として、伝えられればよいでしょうか。

橋本副部長 武蔵小杉には外からの買い物客も相当来ているのでしょうか。

コンサルタント 外から来るよりも、地元の方が多いのでしょうか。

萩原委員 駅周辺を散策している人、ウロウロしている人は多いのですが、消費はそれほどではない面もあるようです。

梶川委員 レストランなどでは子どもや赤ちゃんを連れた若いお客さんが多いように思います。

田邊委員 本当にそうですね。とても多いです。

成田部長 赤ちゃんと子どものためのお店やスペースとなっているフロアもあります。

萩原委員 おにぎりやサンドイッチをもって、1日でもいられる場所になっています。ただ、中のお店で買っているかという、それほど甘くない面もあるようです。

コンサルタント テーマは継続。前期の提案の実践の場として見えている大きな場、「サッカードリーム教室」「総合防災訓練」の実践などをしっかり進めながら、区民会議としての意義や満足度も上げて行こう。その上では世代交流、多様な方にご参加いただけるようにし、ユニバーサルな視点を広げていくことを意識して、実践していく。部会のメンバーについてはいかがでしょうか。

萩原委員 具体的な取り組みに参加する人たちを中心に、それぞれの進め方、関わり方を検討していくやり方もあるのではないかと。検討と実践がうまく、つながると良いかと思います。

コンサルタント イベントの当日などは、課題調査部会のメンバーに限らず、他の委員にも手伝っていただくような形が必要かと思います。

萩原委員 テーマ別の実行委員会のような形はできないでしょうか。

コンサルタント 例えばサッカードリーム教室のチーム、総合防災訓練のチーム、マップづくりのチームというような形でしょうか。

萩原委員 ドリーム教室と総合防災訓練は一つのチームで、それぞれの場で何ができるか考えて、振り分けても良いと思います。今の課題調査部会にはこれに適したメンバーの方々がいらっしゃると思います。

田邊委員 運営部会にも課題調査部会にも入っていない委員が結構いらっしゃいますよね。

成田部長 そうですね。全体の半数くらいの委員がいらっしゃいます。

田邊委員 そうした方々にも関わっていただける形を考えたいです。全体の会議に数回参加しているだけで終わってしまう。

コンサルタント 過去の区民会議では2年間の任期の中で全体会議のみ参加の委員が、それぞれの期で数名ずつですがいらっしゃいました。

事務局 運営部会は今のメンバーのままで継続で考えています。課題調査部会については、今のメンバーの何名かを残しつつ、半分かくらいのメンバーを入れ替えてもよいイメージです。サッカードリーム教室であれば、食生活改善委員でもいらっしゃる山崎委員に加わっていただいて防災食に関するブースを検討したり、広報の面で町会や商店街からの委員に関わっていただくなど、企画内容に応じて委員に加わっていただく。イベント当日においては、全委員にお声掛けさせていただく。例えば梅原委員にお願いしてボーイスカウトの技術を活かしてロープ結びや、サバイバル技術を教わるよう

なブースという話題もありました。場面に応じて、キーパーソンに加わっていただくような、これまでの課題調査部会とは違った形でも良いのかなと事務局でも話していたところです。

梶川委員 リーダーは、どなたか必要かと思います。そしてその中でいろいろな人に関わっていただけると良いと思います。

井上委員 サッカードリーム教室での取り組みについては、私が責任をもって進めたいと思います。イベントの規模やブースの設置場所についても、まだみなさん、イメージが湧きにくい面もあるかと思います。先ほどの梅原さんのロープ結びなどは課題調査部会でも話題が盛り上がったところで、今のメンバーを中心に企画を検討していくことも可能かと思います。また、当日の「全員出てください」は事務局ではなく、委員長の方から呼びかけるとよいと思います。

第5期の提案で2年前に区民祭り内で、フロンターレアシストクラブのスタッフを中心にゴミの分別のゲームの企画ブースをだし、当日、区民会議のみなさんに大勢お手伝いいただいたことがありました。学生を中心に企画・準備を進め、区民会議の方々が当日初めてきてもできる役割をしっかりと考えていたので、みなさんに「やってよかった」と言っていました。私も当日は全体を見なければならず、ブースにべったりというわけにはいかないのですが、そこまでの準備や取り仕切りは、頑張っ

ていきます。

萩原委員 スケジュールが気になるところです。

事務局 次回の全体会で今年度の区民会議のスケジュールについてもお諮りしたいと考えています。全体会の予定が6月の中旬と少し間隔が開いてしまうのですが、会議室の都合上、これは今から日程を動かすのは難しい面がありますので、その間事務局の方で、具体的にサッカードリーム教室や総合防災訓練などの場でどのようなことができるのかなど検討・準備を進め、区民会議の関わり方についても案を練らせていただきます。その内容も全体会で図り、チーム分け、課題調査部会のメンバー決めまでその場でできればと考えています。また、その後の課題調査部会については現在の資料にある日程よりも可能ならば、前倒しして、スピード感をもって進められればと考えています。

萩原委員 そうですね。サッカードリーム教室や総合防災訓練などの内容はすでに全体会で全委員にご納得いただいた内容かと思いますので、反対意見は出ないと思います。課題調査部会ではなく、実行委員会のようなイメージでできそうなメンバーを集めて、どんどん進められると良いと思います。特に総合防災訓練の一回目が夏休み中で、そこに何かやるのであればかなり急ぐ必要があります。

事務局 総合防災訓練は防災の担当の方で年二回、夏と冬の構想で検討を進めているものですが、新たに内容の見直し等も入っており、未確定の部分があるようです。

田邊委員・萩原委員 同じテーマに基づくのであれば、夏ではなく、冬で何かできるように進めていってもかまわないと思います。

事務局 それでも良いのですが、2回できれば一番良いと考えています。夏と冬では内容なども違った形で考えられているようです。

萩原委員 行政の担当はどこの部署になるのでしょうか。

事務局 防災の部署になります。

橋本副部長 総合防災マップについては、どのくらい区民会議が関われるのでしょうか。

事務局 こちらについては、まだスケジュール的に少し余裕があります。いただいた意見を必ずしも全て実現できるわけではありませんが、委員会形式などで、改めて意見をいただき、業者とも調整をしながらという進め方になるかと思います。これまでいただいた意見では「無事ですカード」は防災の担当も「是非採用したい」という話になっています。その他の白地図等のご意見についても、検討・調整事項としてリストアップされています。

コンサルタント メンバーについては、プロジェクトの内容に応じてという形で良いでしょうか。全体会の場でプロジェクトチームの構成などについてもご提案できるように、課題調査部会の部会長だった井上委員や成田委員長、橋本副部長と、今後調整させていただくということで良いでしょうか。

※一同了承

4 その他（事務連絡）

○「一斉清掃活動」について

今年も6月の第一日曜（4日、雨天の場合は11日）に実施予定。別途案内をさせていただきます。各団体からご参加いただいている委員も多い見込み。

○中間報告書について

- ・ 過日に委員長・副委員長から区長に提案・報告済み。次回製本したものを委員のみなさんにも配布予定。
- ・ 概要版が町内会の回覧等にこれからまわる予定。

5 閉会

（以上）